

# Shake Hands

常滑国際交流協会

第104号 2014年9月3日発行

〒479-0837 常滑市新開町5-58 常滑商工会議所内  
電話・FAX：0569-34-4797 メール：tia@japan-net.ne.jp  
ホームページ：<http://www.japan-net.ne.jp/~tia/>



## 国際理解講座のお知らせ

# 住んで・見た・トルコ



【写真】トルコのイスタンブール

中東を代表する大国トルコは「アジアとヨーロッパをまたぐ東西文明交差点」として長い歴史があり、日本との友好関係も古く、現在、多くの企業がヨーロッパへの生産拠点を構え、また観光地としての人気も高まって来ています。

今回の国際理解講座は、昨年11月から今年4月までトルコで3回目の日本語講師をされた知多市の安楽博勲さんに、日本語講師として滞在し、その体験を通じて見たトルコについてお話し頂きます。

トルコについて新しい発見をして下さい。ご参加をお待ちしております。

日時：9月27日(土)午前10時～12時、参加無料、事前申込不要

場所：陶の森資料館 講座室

講師：安楽博勲氏（知多市・東海市国際交流協会会員、日本語講師）

## 秋の講習のお知らせ

常滑国際交流協会

Tokoname International Association



2014年度

### ボランティア英語通訳・ガイド講習 受講者募集

観光案内、ホームステイ、国際交流などで常滑を訪れる海外からのお客様を迎えて、ボランティアで通訳やガイドとして活動しようとする方のために、英語でのガイドや通訳の技術を学ぶ講習を下記のように行います。ぜひご参加下さい。

記

月日・プログラム 毎回土曜日 講習は全5回 時間：午前10時～12時

第1回 10月 4日(土) ガイドの基本 会場：常滑商工会議所 東館2階会議室 講師：布目晃子氏(通訳案内士)

第2回 10月11日(土) ガイドの英語 会場：常滑商工会議所 東館2階会議室 講師：布目晃子氏(通訳案内士)

第3回 10月18日(土) フィールドワーク(やきもの散歩道)

第4回 10月25日(土) フィールドワーク(陶の森・資料館、陶芸研究所)

第5回 11月 1日(土) フィールドワーク(中部国際空港・セントレア)

募集人員：20名

英語のレベル：英検2級(高校卒業)程度以上 受講料：5,000円(当常滑国際交流協会会員は4,000円)



### 2014年度 第2期 接客英会話講習のお知らせ

常滑国際交流協会では、海外からのお客様との有意義な国際交流が出来る地域の人材育成を目的として「接客英会話講習」を行っています。2014年度の第2期の「接客英会話講習」参加者募集を致します。

記

月 日： 9月17日(水) 10月 1日(水) 10月8日(水) 10月15日(水)

10月22日(水) 10月29日(水) 11月5日(水) 11月12日(水)

11月19日(水) 11月26日(水) 12月3日(水) 12月10日(水) (全12回)

時 間：午前10時～12時

場 所：常滑市 陶の森資料館(民俗資料館)2階 講座室

講 師：Jason Ford さん(H.E.Art英会話)

参加費：12,000円(常滑国際交流協会の会員は10,000円)

テキスト代：第2期より新規受講の方は参加費の他にテキスト代2,700円が必要です。

募集人員：30名(定員になり次第締め切ります。)

この2講座のお申込みは常滑国際交流協会へ氏名・住所・電話番号・メールアドレスをご連絡下さい。

〒479-0837常滑市新開町5-58常滑商工会議所内 常滑国際交流協会

電話・FAX 0569-34-4797 メールアドレス tia@japan-net.ne.jp

## T S I E 【常滑市内児童生徒国際交流推進協議会】平成26年度事業報告

## マレーシア派遣事業を終えて

三和小学校 国際交流委員会 委員長 中村沙織

今年の三和小は、8月4日から21日までの18日間、マレーシアのラジャムダ小学校への派遣事業を行いました。去年、同校の受け入れ事業をしたということもあり、選考会ではたくさんの児童が参加しました。今年の派遣事業はスタートから盛り上がっていたように思います。

日本の文化を発表するために、リーダーの先生をはじめ、児童たちはソーラン節、リコーダー、各自で披露する出し物など、カルチャーショーの練習を毎日おこないました。上達するたびに自信がつき、学校の代表としてマレーシアへ行くんだ！という自覚もあらわれるようになりました。そして、カルチャーショーは大成

の児童の前で見事に演じきりました。滞在中には、王宮に招待されたり、チョコレート工場の見学にも行かせていただきました。派遣団は、それぞれのホストファミリーと素敵な時間が過ごすことができました。その他にも日本では出来ない事をたくさん体験させていただきました。

リーダーの先生のフォローもあり、マレーシアの文化を肌で感じる事ができ、とっても良い交流になったのではないのでしょうか。今回の派遣事業での気づきや学びを、今後の活動に生かしていきたいと思います。

派遣事業にご協力くださった全ての方々に感謝します。



## 常滑市制60周年特別記念事業「未来絵プロジェクト」

60周年特別記念事業として採択された立体タイルアート「未来絵」の制作プロジェクトが市民グループによって進められています。

セラミックタイルの生産は常滑の重要な産業ですが、スペインの建築家アントニオ・ガウディがタイルを使って制作したグエル公園のタイル・アートに着想を得て常滑の街を飾ろうというものです。

制作の題材は常滑の小中学校の児童達の「未来に残したい・大切なもの」のスケッチに基づいています。そのモチーフは、やきもの工場の煙突、夕日と海、伝統文化の山車祭り、祭りの笛、海亀、魚、動物、やきもの、漁業、農業など様々な地域産業や自然の風景などに及んでいます。

この制作は新開町の元の消防署の車庫で多くの市民が参加して年末までの予定で行われています。完成した作品は市役所の通りからりんくう町に向かって全部で16体の内13体が設置されます。

常滑国際交流協会では未来絵プロジェクトの市民グループ「未来絵ネットワーク」からの依頼により、常滑国際やきものホームステイ（IWCAT）で海外から常滑にかけて来訪し滞在した海外の陶芸家達にこの活動を紹介しました。

その結果、未来絵作品への暖かな賞賛と60周年を祝うメッセージが寄せられ、その一部は8月23日の常滑焼まつりの会場のマーメイドホールステージで紹介されました。

